

憧れの地味巨乳先輩は

犯され汚され弄ばれて
肉便器へと堕ちていた

肉便器

正正下

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止







今まで感じた事のない奇妙な空気

そこには想像を絶する光景があった



あれは部活動が無い週末の日
文芸部の部室に前日の忘れ物を取りに行った時だった



えっ？



あまりの衝撃に僕はその場から動けないでいたら

な　なんで先輩があんなヤツと



その後ろにいるのは確か

仲間先輩と同じクラスで校内でも有名な札付きのヤツだった



あれは誰？
仲間先輩っ？



あの憧れの先輩が…

今まで見た事もない
表情で不良と交わっている…



一昨日から？

昨日から？



一体いつからそんな関係に？



頭の中が色んな感情で
グチャグチャになった



いやもつとその前から？

僕だけが知らずに…

ポタポタ…

ビチャ…

僕は耐え切れず
わずかに動く足で
よろめきながら
その場を立ち去った

月曜 部室に行くところには普段と変わらない様子の先輩がいた

あら
こんにちは日野君

どうしたの？

あいえ
なんでも…

気まずい

僕はいつものように先輩の向かいに座り読みかけの本を取り出した

でも内容がまったく頭に入っていない…

そわそわ

あの…
今日はいつもと様子が違うけどどうしたの？

もしかして
体調が悪い？

気が付けば先輩が隣に立っていた



えええ
体調が悪いわけ
ではないです



それならいい
けど
今日は天気も悪くて
少し寒いから
無理したらダメだよ

やっぱり先輩は優しいな
でも……



大丈夫？良かったら
保健室までついていくけど



二人だけの時間は
とても幸せだった



楽園のように感じてた

今までは先輩と二人きりで
居られるこの空間は



そ
そ
そう
ですか…

えっ
急に何？
いい
ないわ
よ
そんな
人っ

あ
あの
先輩…
変な
事聞
きます
けど…
先輩
って
付き
あつ
てい
る
人
つ
てい
ます
か？

…



でも
あんな
モノ
を見
た今
では…

煉
獄に
でも
い
る
よ
うな
気
分
だ…



も
しか
して
先
週
末
の
アレ

見
られ
ち
や
つ
た？



その反応やっぱり
見られちゃったんだ…

あっ
いえ…



仕方ないよね…

日野君には
知られたくなかったけど



何から話そうかな



彼…矢沢君に…
レイプされたの

あれは
二か月ほど前
日野君が風邪で
休んだ日ね



あれっ今日は
日野君休みじゃ…

ガチャ



えっ…

僕はただそれを黙って
聞いている事しかできなかった…

その衝撃の一言から
先輩の長い告白が始まった



ぶ 文芸部の部室に
何か用かしら？

滅多に部外者がこない
こんな所に…

今日は後輩クン
休みなんだって？



よっ
千鶴ちゃん♡

や 矢沢君…？



ちよっど
よかったわ

ど
どという事？

怖い…



ど
どという事♡

俺前から
千鶴ちゃんの事
狙ってたんだよね

やっ



そしてそのまま
押し倒されて

私は処女を奪われた



じゃあお掃除
してもらおっか

お掃除って
なに？

読書家なのにこの手の
事には疎いんだね
こういう事だよ！

うっ
!!



恥ずかしい姿の写真も
たくさん撮られたのに

恐怖でろくに声も出せなかった



ある時は体育倉庫で
体操服を着させられながら

こんな格好
恥ずかしい…

千鶴ちゃんのブルマ姿
見てたら俺のチンポも
ピンピンになったわ

ほら
舐め舐めして♡

いやいやブルマ
よく似あってるよ♡
通販で買った
甲斐があったわ

あ…

あ…
あ…
あ…

ある時は更衣室で
水着を着させられながら



おお、いい食い込み
スク水にしようか
迷ったけど

千鶴ちゃん
地味子の癖にイイ体
してるからピチピチが
よく似合っているわ

ブルッ

やあ…
見ないで…



うはっ もうおまんこ
めっちゃ濡れてる
千鶴ちゃんも興奮してるんだ♡

ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ

ピチヤッ

ムキッ…

ち 違っ
は あ…





おあー
おあー
おあー

おおっ
いい声出すように
なったじゃん♡

気が付けば私は自分でも驚く、
ような嬌声を上げるになっていた

ブツブツ

ブツブツ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ



よく来てくれたね
千鶴ちゃん
私服姿も可愛いじゃん♡



ま
すぐ脱がせ
ちゃうんだけどね

あ
あの親御さんは？



今は俺
一人暮らしたから
夜までいっぱい
楽しもうぜ♡

えっ…

今度は彼の家にも呼び出されて…



彼の要求はどんどんエスカレートしていき



結構派手な下着じゃん
俺に見せるために
気合いれてきた？

そそっというわけじゃ…

すりすり
すっすっ



このマンション
防音バッチリだから
遠慮なく声出していいよ

っ!!

くっくっ

さわっ…

あはあっ!

くっん…

もみゅ
もみゅ





手だけとは全然違
なにこれえ！

それそれ
クリとおまんこ
同時攻撃！



そーら ズッポズッポ♡

初めての感覚に触発されて
私は私の躰が少じづづ変化を
じているのを感じた



今度はお尻も同時に攻めちゃうよ

プチュン

ブルブル

ぬるぬる

ブルブル

じゃぽっ

だめっ だめえっ

いやあ!!

プシャアアッ!

ちゅぽん

うはっ アナルがぶっくり捲れちゃってる 千鶴ちゃん恥づかし

はっ

はっ

はっ

はっ

あれ またイっちゃった千鶴ちゃん? すっかりエッチの虜だねえ

もはや言葉が発することも出来ないほどの疲労感と同時に私の躰は絶頂を覚え始めていた

ぐたっ

はっ

したあ



はむっ

うんっ

最初はただ嫌悪感
しかなかったフェラチオも

今はもう何も感じなくなっていた

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



休んでないで俺も
気持ちよくしてよ

ぐんっ



ほれっ

ぞわっ...

...



自然と舌を回内の粘膜を使って
彼に積極的に奉仕するようになっていた

おんっ

ちゅっ
ちゅっ



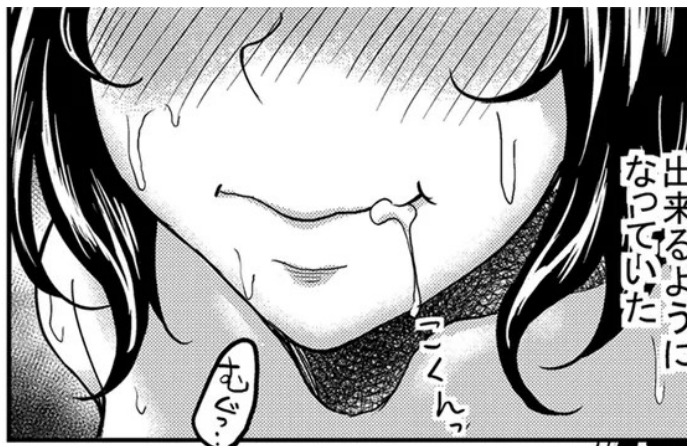
うんっもむしろ自分から
男根を求めるかのように

はっ

うっ

しゃっ
しゃっ

くぽっ
くぽっ



むっ...

こくんっ



もはや精飲も
試らないなく
出来るように
なっていた

はあ...

の
飲みました...



ヒキ

射精したばかりなのが
嘘のように男根を
そり立たせながら
ビキ



彼は嗜虐的な笑みを
浮かべながら私を
見下ろしていた



やらやら
わたしもうっ...

ブルブル

ブルブル

おかみくなひゃ
うううう

ブルブル

ずず
ぽぽ

ずず
ぽぽ

ぬちや
ぬちや
すちや
すちや

もうっ...
やめてえ

やらあ
うっ...

彼の男根を受け入れると
私の臍は嘘のように反応した

もうクタクタ
だったはずなのに

もみ
もみ

ふに
ふに

ズ
ズ

ズ
ズ



これが快樂による
脳内麻薬の分泌効果……?

うはっ
—突きするたびに
おっぱいめっちゃ
揺れててエロっ♡



それに
このむっちりとした
デカいお尻も
ハメ甲斐あるわ♡



ホントセックスするために
生まれたような体だわ♡

そんな事を考えながら
獣のような嬌声を上げていた



あ、すげえ
気持ちいいわ、
金玉から精子がめっちゃ
上がってくるのが
よくわかるぜ

子宮を突かれるたびに
脳に電流が走り



ちやんとピル
飲んできたよな
ナカに出すぞ！



そのたびに私の頭は
真っ白になった

はひいっ
!!

ド
ム
ム
ム

ブルッ
彼の射精の脈動を腔内で感じながら
絶頂の中で私は果てた

ブルッ

ブルッ

ぷっ
ぷっ

あゝすげゝ出るわゝ

やっぱり千鶴ちゃんのナカ
最高っ♡

んんんんん

びゅ
びゅ

びゅ

ブルッ
ブルッ

もはや私の躰は
快樂の波に抵抗することもなく
それを受け入れていた



こんな「普通の生活の中では着る事のないような破廉恥な衣装を着させて



彼は今度は私を夜の街に連れ出し私の痴態を撮り始めた



でもそんな私の怪訝な表情も彼にとつては興奮のスパイスでしかなかった

パンパンパン

その後は当然…

ほ 本当にこんな所で
するの？

あつたり前
じゃん♡

ずるん

誰かに見られたら
私の人生は終わる

最初はそんな事を考えなら
犯されていたのに

あ
ズボ
あ

ズボ
ズボッ

プリン

アキヤ



彼は笑いながら

あふ

はーっ

はーっ

はーっ

はーっ

はーっ

うはっマンコから精液
めっちゃ垂らしているの
エロっ♡

これも記念撮影と

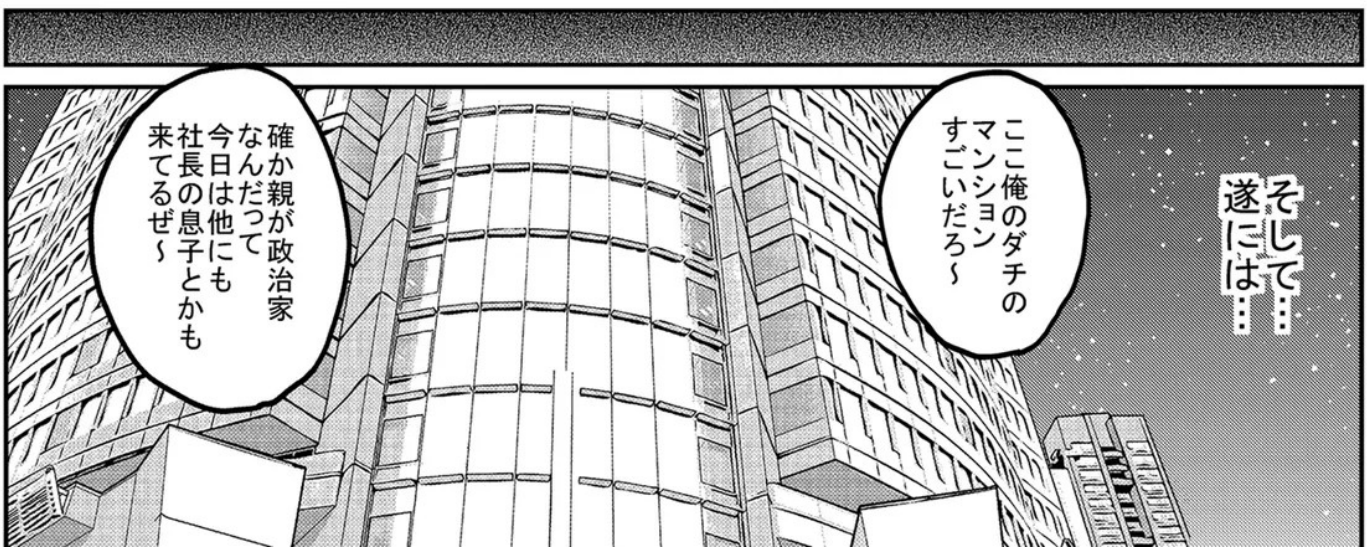
秘部から精液を垂らしながら
果てている私の姿を何度も写真に撮っていた

とろっ

そして...
遂には...

ここ俺のダチの
マンション
すごいだろ

確か親が政治家
なんだって
今日は他にも
社長の息子とかも
来てるぜ





今日は一緒に
楽しもうぜ♡

はっ
はあ...

へ〜君が千鶴ちゃん
可愛いね〜おっぱいも
でかいし

何この人たち 同世代...?

普通の感じじゃないっ



いって
俺たちはそんなの
気にしないから♡

ぢゅる...

明らかに
今まで関わる事のなかつた類の人たちに
囲まれながら私は臍を弄ばれた

ざわ

えっ すぐにっ?
まだ会ったばかりなのに...

ざわ

千鶴



啜えてよ
千鶴ちゃん♡

突き出された男根を休み暇もなく私は手で口で...



俺のも
俺のも♡



まっアルッ!

ちゅぱちゅぱ

れろれろ

くちゅくちゅ



はふ

はふ

う?

しゃーしゃー

くちゅくちゅ

くちゅ

くちゅ

乳房で奉仕し続けた



よっしやあつ!
千鶴ちゃんのおまんこ
一番乗り!

ズボッ

こっちもちゃんと
睨えろよ!

ずぶっ

うっ
うっ



そうして私は突き出された
男根によって全身を撚られた

ズンッ

ゆぶっ

ゆぶっ

穴という穴を汚されて
いるのにこの陶酔感は何?

私はもう自分が帰れない処まで
きている事を体中で感じていた

おっ
おっ

おっ

しゃん

ズンッ

千鶴ちゃんアナルも
イけるんだって？

ズ
ズ
ズ

うはっアナルOK
巨乳JK地味子
とか神じゃんっ

ズ
ズ
ズ

うぶっ！！

ぬ
ぬ
ぬ

むせ返るほどの
精の匂いが充滿した部屋で
たくさんの男根に囲まれながら
体を撻られ弄ばれ犯され続けた

もう一体何人の男根を
何回自分の中に受け入れたかも
わからないぐらいに

ず
ず
ず

ふ
に
ふ
ら

フ
フ
フ

た
ふ
っ



ほーら笑って〜
記念撮影だよ〜

くた

ハハハ

とろ

ほーら

ほーら

ほーら

ほーら

ほーら



ようやく
先輩の話が終わった

まるで悪趣味な
官能小説の朗読を
聞かされていたような
気分だった



たぐさんの人に
迷惑がかつちやうし
私一人が我慢すれば
いいんだから…

そんなの間違った
自己犠牲です先輩！
僕は先輩の事を…
尊敬してはいますが
それには賛同
できません

それに…

見て
ス…

？



あはっ
馬鹿みたいでしょ

体にこんな
落書きされたのに
消しもしないで
学校に来ちゃってる

でも
気づいちゃったの

私は
どうしようもなく
淫乱なメス犬
だという事に

ザアアッ!

目にうつすら涙を浮かべながら
そう言う先輩はどても綺麗に見えた

肉便器
正正

今だって貴方に
こんな恥ずかしい姿を
見られているのに
悦びを感じているの

それでも
どんなに堕ちて汚れても...

ごめんね
貴方の思っているような
女じゃなくて...

僕は先輩の事が大好きです



こんにちは久水あるたです。今回は初めてBSS本を描いてみましたがいかがだったでしょうか。普段は比較的明るい作品を描くことが多いのでここまでストレートに救いの無いダークな作品を描くのもたまにはいいもんだなと思いました。

ところで商業誌の話ですがまだ詳細は言えないですがしばらくはエロの方は休んでまたコミカライズの仕事をする事になりそうです。エロ同人の方はなんとか時間を作って続けていくつもりですのでよろしければ両方とも今後も応援よろしくお願いします。

それではまた次回作で。

2025年12月5日 初版発行
発行サークル スタジオあるた
発行責任者 久水 あるた

感想、意見等があったら
お待ちしております。

mail : spvg3rp9@extra.ocn.ne.jp
無断転載複製加工禁止
18歳未満の方は
購入できません